

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は平成22年3月末現在、給水人口4,710千人で、総人口5,061千人に対し93.1%となっており、全国平均の97.5%に比べ4.4ポイント低い状況にあります。

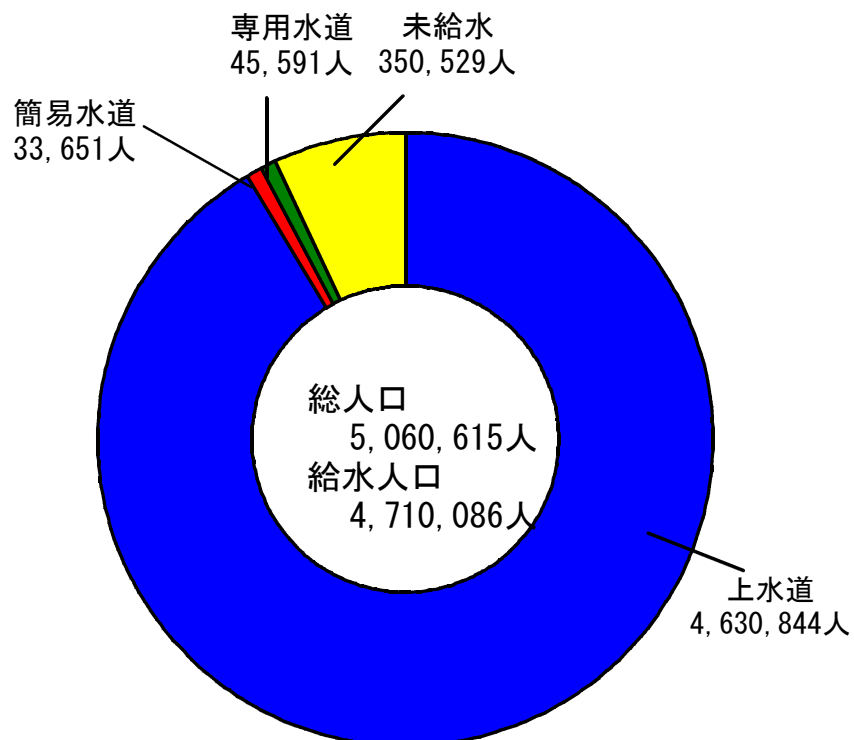
広域圏別では、福岡地域が96.0%と最も水道普及率が高く、次いで北九州地域が95.5%、筑豊地域が94.5%の順であり、比較的地下水に恵まれた地域を抱える筑後地域が81.2%となっています。

◎ 現在給水人口と普及率（平成22年3月末現在）

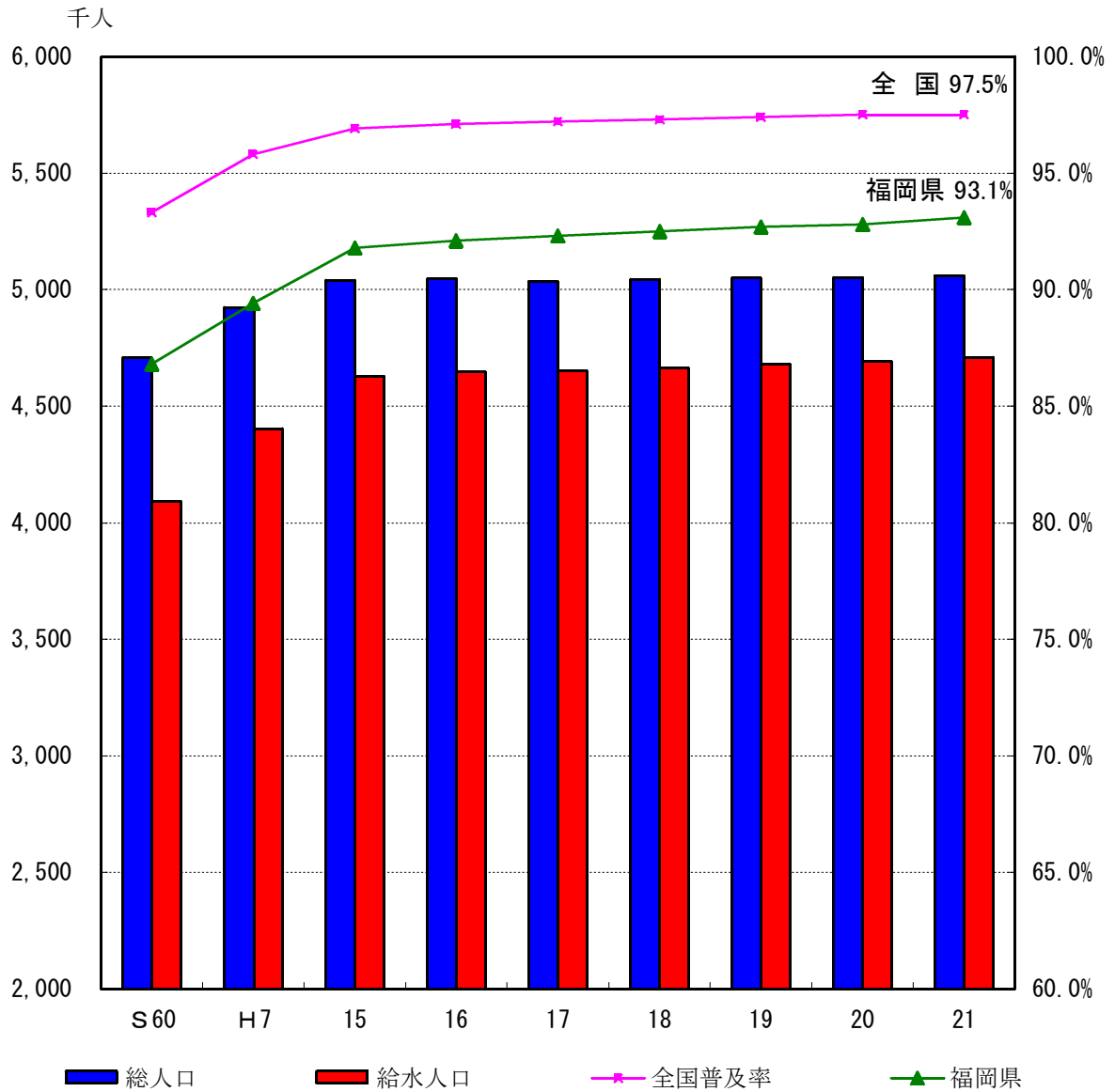
広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率	
		上水道	簡易水道	専用水道			
福岡	2,396,275	2,301,609	2,274,065	2,250	25,294	94,666	96.0%
北九州	1,307,507	1,248,780	1,236,704	7,961	4,115	58,727	95.5%
筑後	922,413	748,993	717,394	16,764	14,835	173,420	81.2%
筑豊	434,420	410,704	402,681	6,676	1,347	23,716	94.5%
県計	5,060,615	4,710,086	4,630,844	33,651	45,591	350,529	93.1%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上

また、水道の種類別の給水人口を見ると、上水道 4,631千人、簡易水道 34千人、専用水道 46千人となっており、水道未給水人口は350千人という状況にあります。



◎ 水道普及状況の推移



		S 60	H 7	15	16	17	18	19	20	21
総人口 (千人)		4,708	4,926	5,042	5,046	5,037	5,043	5,049	5,053	5,060
給水人口 (千人)		4,090	4,404	4,630	4,648	4,650	4,666	4,680	4,691	4,710
普及率	福岡県	86.8%	89.4%	91.8%	92.1%	92.3%	92.5%	92.7%	92.8%	93.1%
	全国	93.3%	95.8%	96.9%	97.1%	97.2%	97.3%	97.4%	97.5%	97.5%

2 給水の状況

(1) 年間給水量

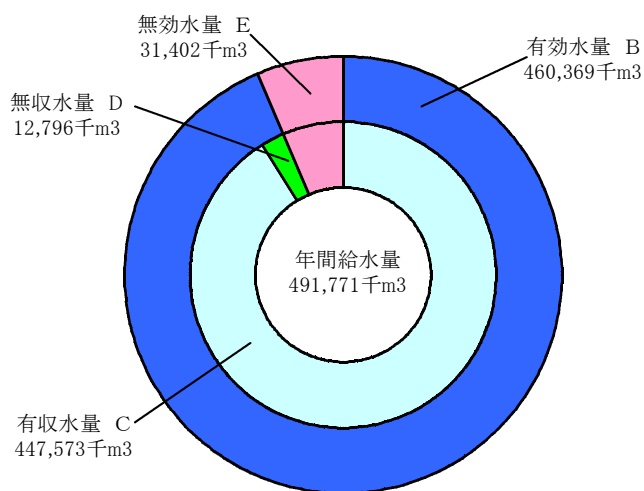
県内の年間給水量は491,771千 m^3 であり、前年度と比べ106千 m^3 減少しています。そのうち、上水道による給水が488,703千 m^3 と、その大部分を占めています。

年間給水量の内訳は、有効水量が460,369千 m^3 、漏水などの無効水量が31,402千 m^3 となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位：千 m^3)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	222,611	214,980	211,870	3,110	7,631	96.6%	95.2%
	北九州	146,400	132,847	127,133	5,714	13,553	90.7%	86.8%
	筑後	70,684	67,174	64,564	2,610	3,510	95.0%	91.3%
	筑豊	49,008	42,786	41,526	1,260	6,222	87.3%	84.7%
	計	488,703	457,787	445,093	12,694	30,916	93.7%	91.1%
簡易水道	福岡	199	190	183	7	9	95.5%	92.0%
	北九州	555	489	478	11	66	88.1%	86.1%
	筑後	1,590	1,339	1,315	24	251	84.2%	82.7%
	筑豊	724	564	504	60	160	77.9%	69.6%
	計	3,068	2,582	2,480	102	486	84.2%	80.8%
合計		491,771	460,369	447,573	12,796	31,402	93.6%	91.0%



- 年間給水量：水道事業者が自己の給水区域に対して給水した量
- 有効水量：メータで計測された水量（有収水量＋無収水量）
- 有収水量：料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量：料金徴収の対象とならなかった水量（管洗浄用、公衆便所用等）
- 無効水量：配水管からの漏水等無効となった水量

(2) 用途別有収水量

上水道の有収水量を用途別に見ると、生活用が 346,170千 m^3 、業務・営業用が87,841千 m^3 、工場用が8,893千 m^3 、その他が2,189千 m^3 となっており、生活用、業務・営業用が大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千 m^3)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	167,412	43,276	693	489	211,870
北九州	100,230	21,461	4,123	1,319	127,133
筑後	45,482	16,470	2,488	124	64,564
筑豊	33,046	6,634	1,589	257	41,526
計	346,170	87,841	8,893	2,189	445,093
構成比率	77.8%	19.7%	2.0%	0.5%	100.0%

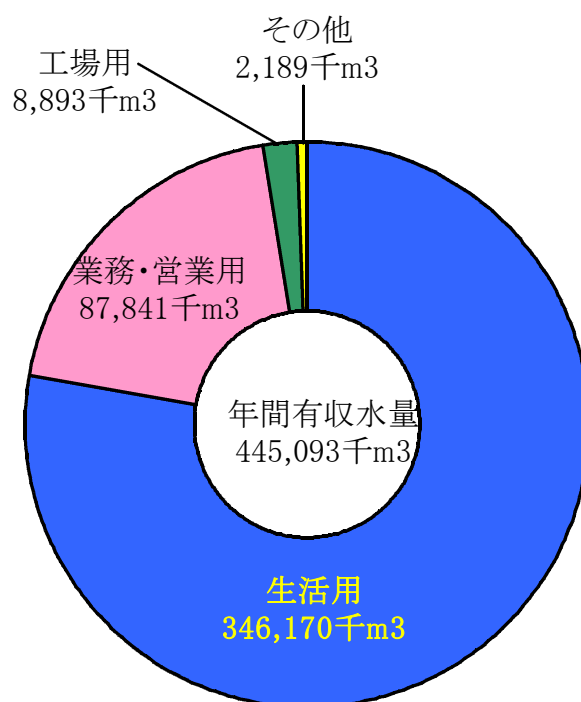
※ 用途区分は次のとおり

生活用 : 一般家庭用

業務営業用 : 官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工場用 : 工場用

その他 : 水道事業所用水、水道メータ不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

一日平均給水量は1,347千 m^3 、一日最大給水量は1,520千 m^3 となっています。

一人一日当たりでは、平均給水量が289リットル、最大給水量は326リットルとなっており、広域圏別に見ると、筑豊、北九州地域が他の地域より多くなっています。

また、上水道の一人一日当たりの平均、最大給水量はどちらも全国平均より低い数値となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m^3)	一人一日 ($リットル$)	日最大 (m^3)	一人一日 ($リットル$)
福岡	上水道	609,893	268	668,811	294
	簡易水道	544	242	909	404
	計	610,437	268	669,720	294
北九州	上水道	401,096	324	444,835	360
	簡易水道	1,520	191	1,875	236
	計	402,616	323	446,710	359
筑後	上水道	193,655	270	226,872	316
	簡易水道	4,358	260	5,631	336
	計	198,013	270	232,503	317
筑豊	上水道	134,268	333	167,940	417
	簡易水道	1,984	297	3,029	454
	計	136,252	333	170,969	418
県計	上水道	1,338,912	289	1,508,458	326
	簡易水道	8,406	250	11,444	340
	計	1,347,318	289	1,519,902	326
全国	上水道	—	349	—	405

※全国は、平成21年度が未公表のため、前年度(平成20年度)を掲載。

○ 平均給水量

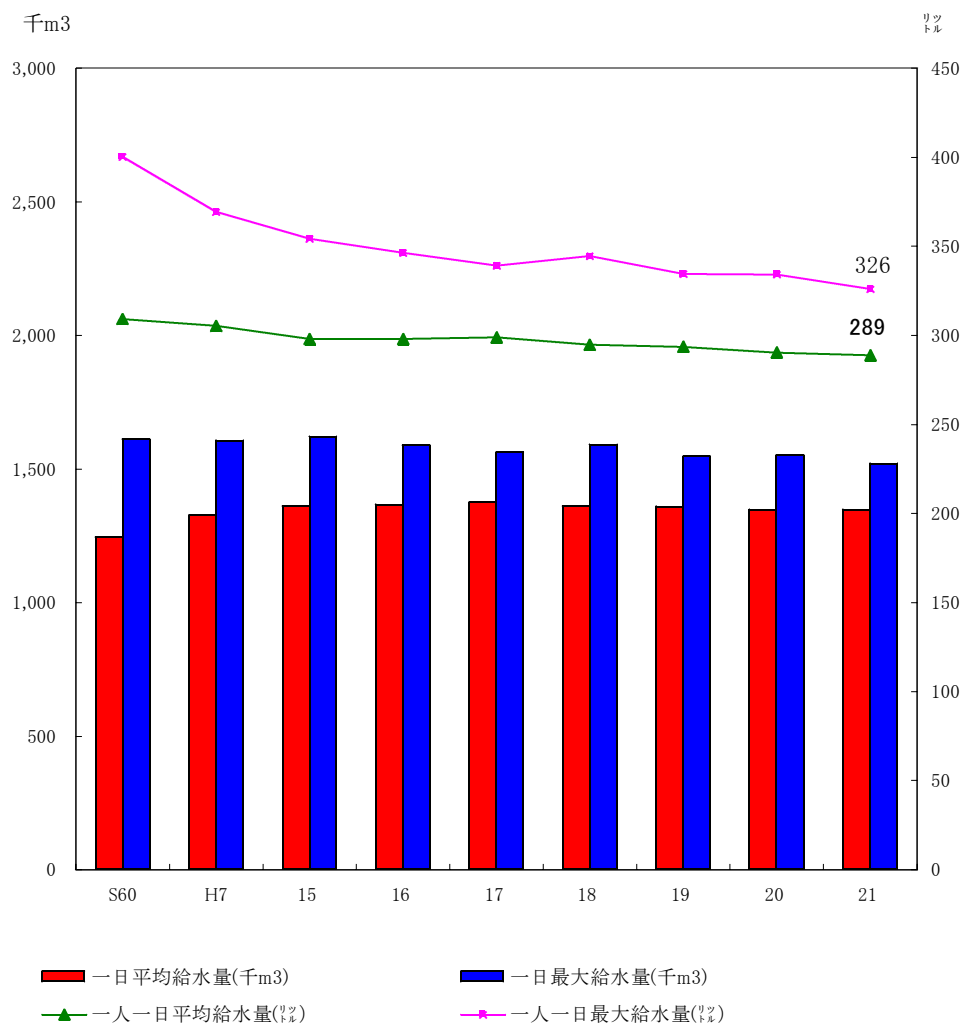
- ・日平均：年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

○ 最大給水量

- ・日最大：水道事業者毎の日最大給水量の合計
- ・一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

一日平均給水量及び一人一日平均給水量は、近年、ほぼ横ばいで推移しています。また、一日最大給水量及び一人一日最大給水量も、同様の傾向を示しています。

◎ 一日平均給水量、一日最大給水量の推移(上水道、簡易水道)

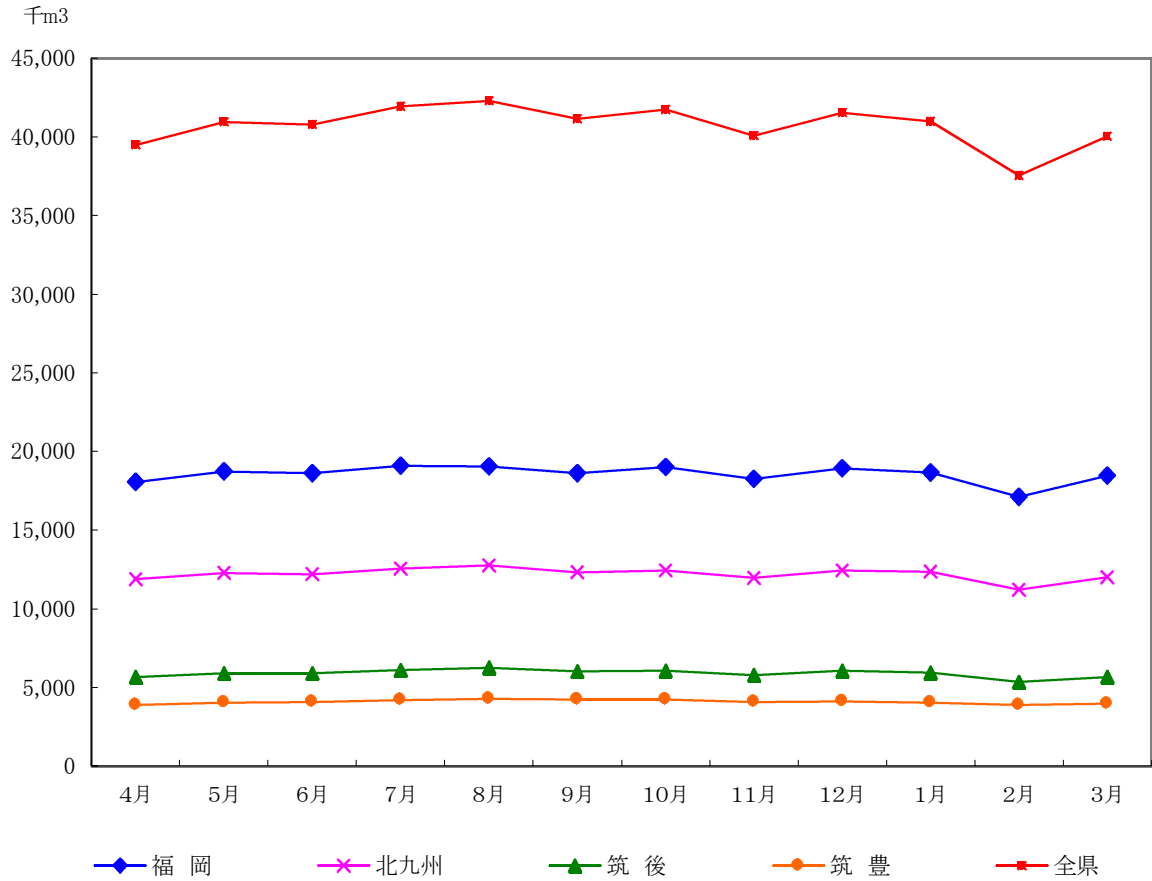


区 分	年 度									
	S60	H7	15	16	17	18	19	20	21	
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,362	1,367	1,376	1,361	1,359	1,348	1,347	
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,620	1,589	1,562	1,591	1,548	1,552	1,520	
一人一日平均給水量(%)	309	305	298	298	299	295	294	290	289	
一人一日最大給水量(%)	400	369	354	346	339	345	334	334	326	

(4) 月別給水量

月別給水量の最大は8月の42,302千 m^3 、最小は2月の37,559千 m^3 となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



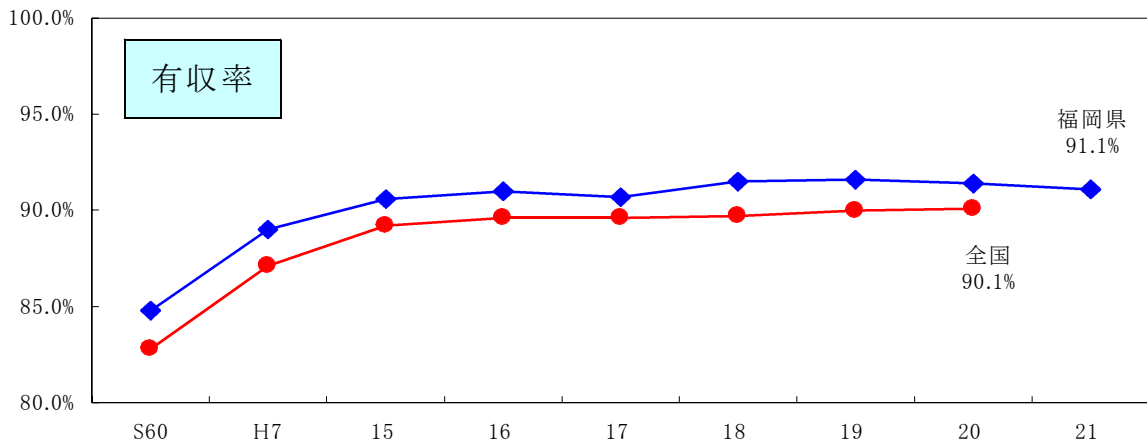
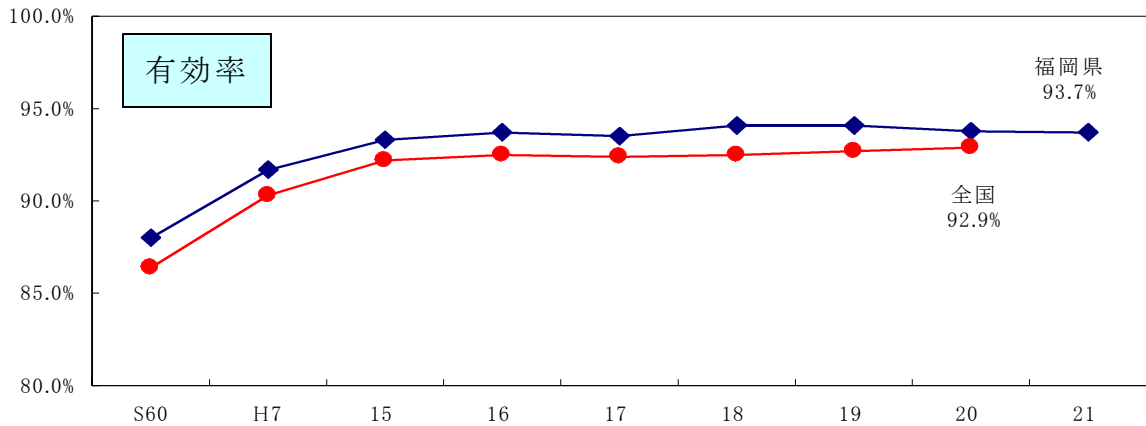
(単位:千 m^3)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,073	18,740	18,629	19,099	19,045	18,616	19,009	18,247	18,949	18,667	17,096	18,441	222,611
北九州	11,875	12,264	12,188	12,546	12,747	12,301	12,458	11,966	12,448	12,370	11,226	12,011	146,400
筑後	5,680	5,914	5,912	6,097	6,247	6,009	6,045	5,802	6,052	5,926	5,355	5,645	70,684
筑豊	3,866	4,040	4,065	4,207	4,263	4,220	4,256	4,089	4,117	4,044	3,882	3,959	49,008
計	39,494	40,958	40,794	41,949	42,302	41,146	41,768	40,104	41,566	41,007	37,559	40,056	488,703

(5) 有効率、有収率

上水道の有効率は93.7%、有収率は91.1%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	15	16	17	18	19	20	21
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.3%	93.7%	93.5%	94.1%	94.1%	93.8%	93.7%
	全国	86.4%	90.3%	92.2%	92.5%	92.4%	92.5%	92.7%	92.9%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.6%	91.0%	90.7%	91.5%	91.6%	91.4%	91.1%
	全国	82.8%	87.1%	89.2%	89.6%	89.6%	89.7%	90.0%	90.1%	未公表

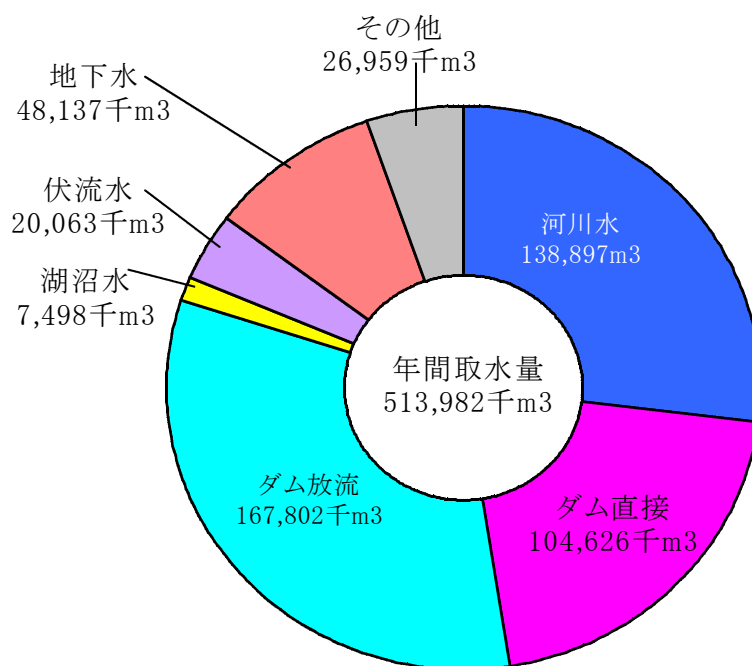
○ 有効率 : 年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

○ 有収率 : 年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

3 取水の状況

年間取水量は513,982千 m^3 で、そのうち河川（河川水、ダム直接、ダム放流）からの取水が411,325千 m^3 と大部分を占めています。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、用水供給)

(単位:千 m^3)

年度	昭和60	平成7	15	16	17	18	19	20	21
河川水	116,791	163,039	123,102	113,170	129,617	117,238	139,094	122,391	138,897
ダム直接	131,761	113,409	119,435	135,212	109,365	124,851	99,574	118,869	104,626
ダム放流	134,891	120,667	164,474	161,366	165,716	171,721	172,450	164,168	167,802
湖沼水	5,537	7,981	9,390	9,140	9,327	7,916	8,018	7,715	7,498
伏流水	22,736	24,389	31,400	31,481	31,518	22,851	21,812	18,056	20,063
地下水	47,998	56,701	53,219	52,792	49,135	46,747	48,533	47,532	48,137
その他	1,003	1,429	556	722	24,138	22,320	29,444	25,765	26,959
(海水淡水化)	—	—	—	—	(23,497)	(21,623)	(28,795)	(25,205)	(26,183)
計	460,717	487,615	501,576	503,883	518,816	513,644	518,925	504,496	513,982

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

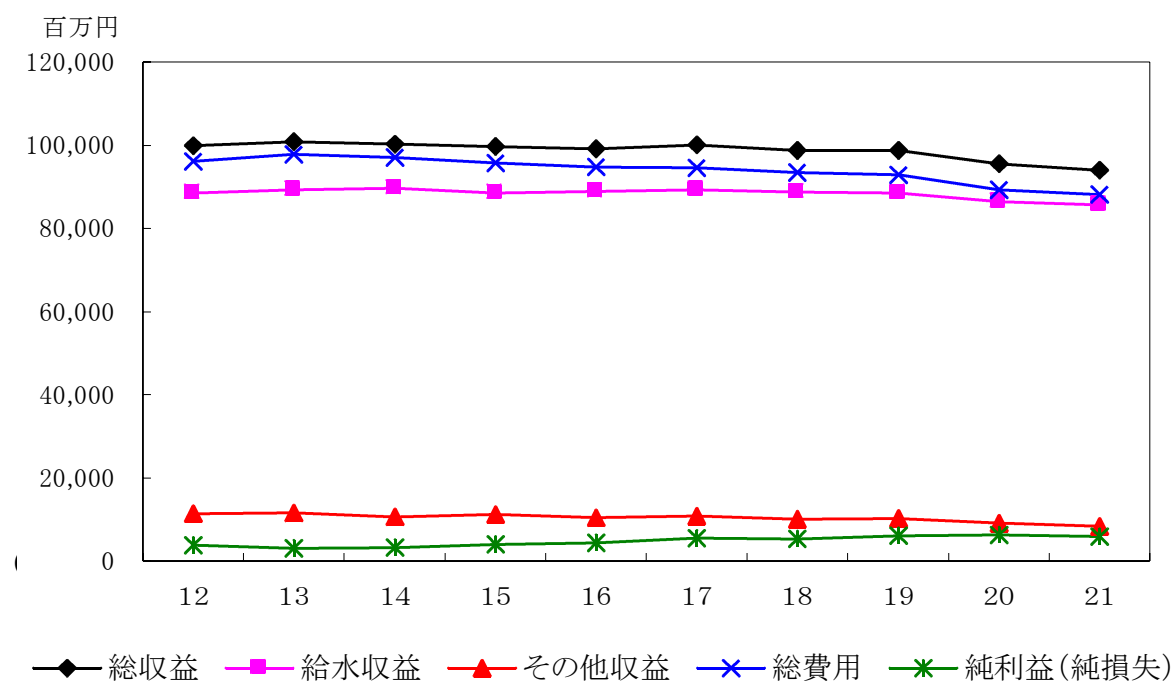
(1) 総収益と総費用

上水道事業体の総収益は940億円で前年度と比較し16億円減少しており、総費用も881億円で12億円減少しています。総収益から総費用を差し引いた純利益は59億6千万円と前年度から3億5千万円減少しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年 度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
12	99,991,978	11,402,475	96,161,674	3,830,304
13	100,865,342	11,501,069	97,865,602	2,999,740
14	100,354,128	10,630,816	97,124,321	3,229,807
15	99,672,599	11,151,152	95,729,747	3,942,852
16	99,204,559	10,385,606	94,810,766	4,393,793
17	100,047,167	10,799,439	94,507,398	5,539,769
18	98,795,931	10,131,160	93,537,038	5,258,893
19	98,824,166	10,250,193	92,806,199	6,017,967
20	95,636,195	9,138,524	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	8,349,431	88,084,623	5,964,288



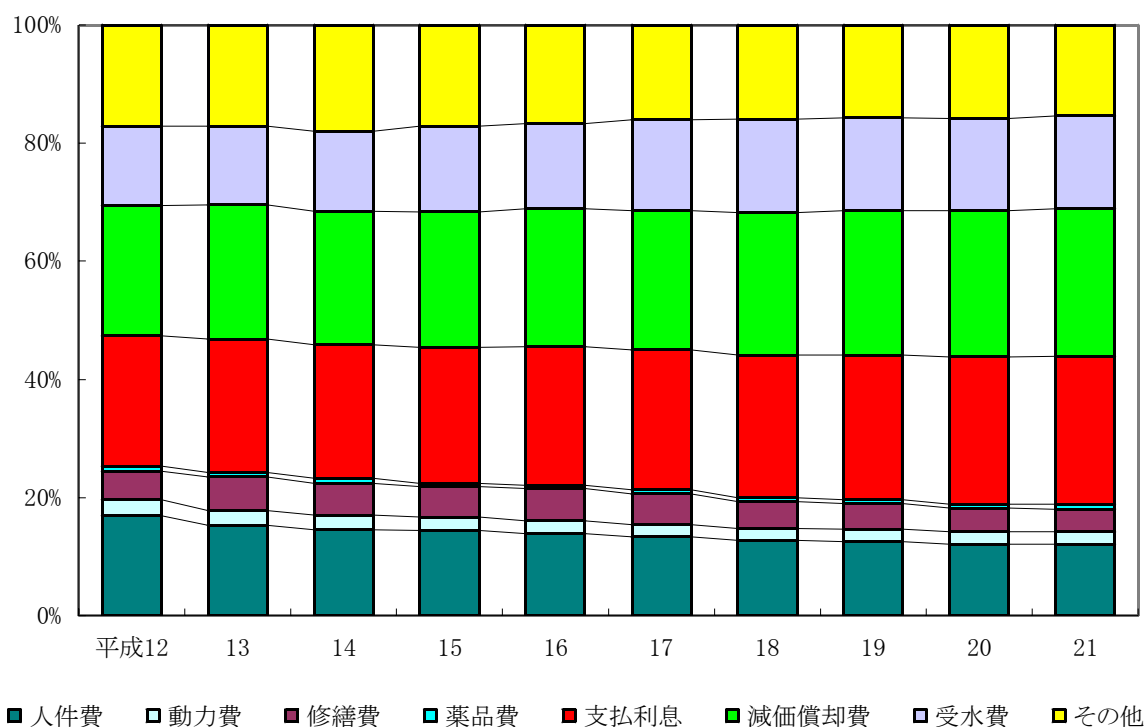
(2) 費用構成

上水道事業体の費用構成の推移をみると、人件費、修繕費及び支払利息等は減少傾向にあります。減価償却費は増加しています。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	平成12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人件費	16,832,424 (17.8%)	15,759,860 (16.3%)	15,035,890 (15.7%)	14,881,041 (15.8%)	14,359,178 (15.3%)	14,004,073 (15.0%)	13,473,489 (14.5%)	13,326,208 (14.5%)	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)
動力費	2,706,867 (2.9%)	2,592,935 (2.7%)	2,592,371 (2.7%)	2,359,489 (2.5%)	2,293,631 (2.5%)	2,249,976 (2.4%)	2,095,249 (2.3%)	2,194,508 (2.4%)	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)
修繕費	4,817,777 (5.1%)	5,912,343 (6.1%)	5,547,921 (5.8%)	5,360,102 (5.7%)	5,696,300 (6.1%)	5,481,056 (5.9%)	4,894,972 (5.3%)	4,668,713 (5.1%)	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)
薬品費	801,378 (0.8%)	756,907 (0.8%)	844,575 (0.9%)	521,181 (0.6%)	606,479 (0.6%)	694,760 (0.7%)	639,946 (0.7%)	711,474 (0.8%)	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)
支払利息	16,954,109 (18.0%)	16,513,125 (17.1%)	15,602,872 (16.3%)	14,701,752 (15.6%)	13,963,110 (14.9%)	13,078,195 (14.0%)	12,408,242 (13.4%)	11,540,718 (12.6%)	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)
減価償却費	21,945,682 (23.2%)	23,379,446 (24.2%)	23,386,131 (24.4%)	23,739,122 (25.2%)	24,341,977 (26.0%)	24,876,796 (26.6%)	25,536,256 (27.6%)	25,935,327 (28.3%)	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)
受水費	13,365,708 (14.2%)	13,816,134 (14.3%)	14,063,968 (14.7%)	14,954,759 (15.9%)	14,919,555 (15.9%)	16,120,921 (17.3%)	16,761,061 (18.1%)	16,636,838 (18.1%)	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)
その他	17,026,407 (18.0%)	17,700,467 (18.4%)	18,625,815 (19.5%)	17,736,298 (18.8%)	17,393,610 (18.6%)	16,916,950 (18.1%)	16,879,258 (18.2%)	16,720,923 (18.2%)	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)
計	94,450,352 (100.0%)	96,431,217 (100.0%)	95,699,543 (100.0%)	94,253,744 (100.0%)	93,573,840 (100.0%)	93,422,727 (100.0%)	92,688,473 (100.0%)	91,734,709 (100.0%)	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)



5 水道料金（上水道）

水道料金は、水道事業体間で異なり、家庭用1ヶ月20m³当たりの料金は、下記の表のとおり3,500円以上4,000円未満の事業体が最も多く、18事業体となっています。

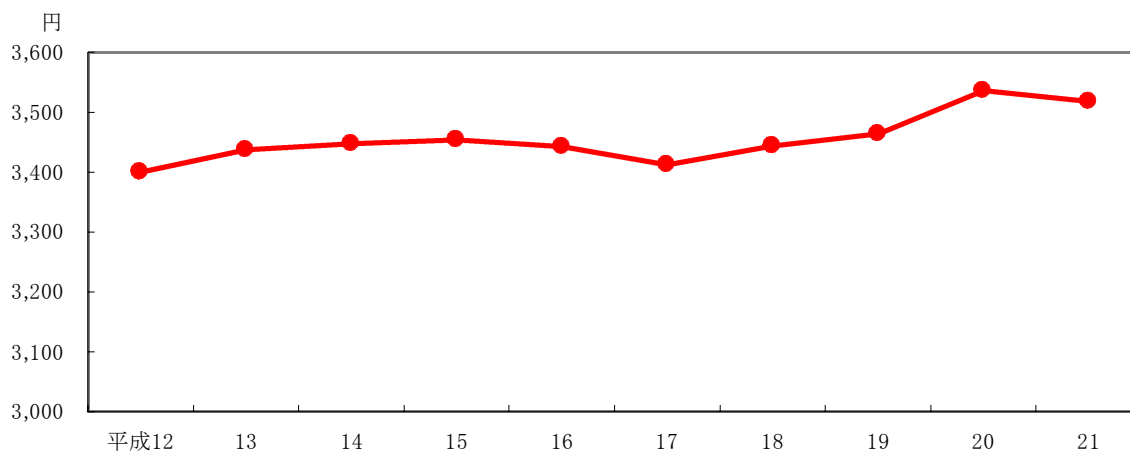
なお、家庭用1ヶ月20m³当たりの水道料金の県平均は3,518円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20m³当たりの水道料金（上水道）

（平成22年3月31日現在）

区分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	5
2,500円以上～3,000円未満	10
3,000円以上～3,500円未満	9
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	11
4,500円以上	3

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20m³当たり）



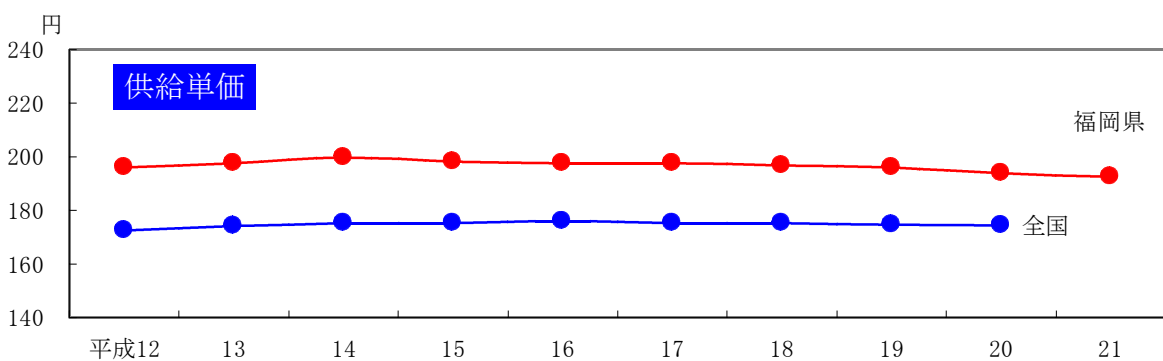
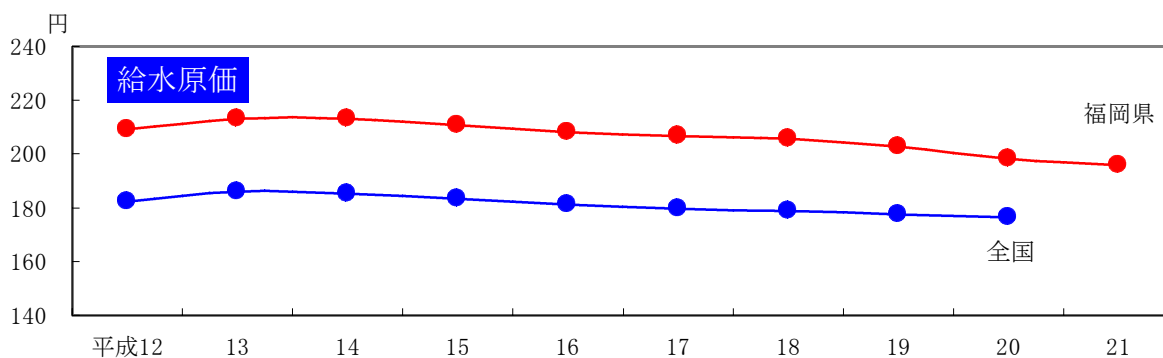
年度	平成12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
福岡県	3,400	3,437	3,447	3,454	3,443	3,412	3,444	3,464	3,536	3,518

※ 基本料金・メーター使用料を含む

6 給水原価と供給単価（上水道）

給水原価と供給単価は、それぞれ195.97円/m³、192.54円/m³となっており、毎年少しずつ減少していますが、全国平均と比較すると上回っています。

給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		平成12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
給水原価	福岡県	209.03	213.09	213.10	210.84	208.20	206.78	205.62	202.89	198.17	195.97
	全国平均	182.27	186.02	185.16	183.36	181.16	179.74	178.83	177.45	176.35	未公表
供給単価	福岡県	196.06	197.47	199.80	198.02	197.62	197.54	196.69	195.90	193.82	192.54
	全国平均	172.55	174.09	175.19	175.17	176.09	175.21	175.20	174.78	174.31	未公表

- 給水原価 : 有収水量 1 m³ 当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。
- 供給単価 : 有収水量 1 m³ 当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。